

マンガ「片町夜曲」 # 9 原作シ ナリオ

山崎浩治

マンガ「片町夜曲」 #9 原作シナリオ

#1 スーパー銭湯の湯船に浸かっているアヤカ

アヤカ「今日は大学もバイトも休み……極楽極楽！」

#2 「女湯」出口

「女湯」の暖簾をくぐって出て来るアヤカ。

男の声「アヤカちゃん！」

アヤカ、振り返ると、風呂上がりのイケメン(長髪)が立っている。

アヤカ「(首を傾げて)……誰？」

イケメン「あたしよ、あたし……あかり」

イケメンにオーバーラップするホステス姿のあかり。

アヤカ「ええ〜っ！」

#3 同・休憩所

向かい合って飲み物を飲んでいるアヤカとイケメン(`男、姿のあかり)。

アヤカ「あかりさん、男風呂、入るんですね」

イケメン「そりゃそうよ。体は男だから。でもね、男が女風呂に入ってる気分で最高よ(とニッコリ笑う)」

アヤカのM「このイケメンさんは `片町のシンデレラ、あかりさんの素顔でした」

イケメン「アヤカちゃんはあたしが男だってこと、知ってたんでしょ？」

アヤカ「以前、あかりさんが店でくしゃみした時に……」

イケメン「本名はサトシ。男の僕もよろしくね。(端末を取り出し)連絡先、交換しよ」

#4 「居酒屋まわり道」・店内(別の日の夜)

ホステス姿のあかり、陽平と同伴で来店している。

アヤカのM「それからあかりさんは、あたしが週2回ほどバイトする居酒屋まわり道にもちょくちょくやってくるようになりました」

陽平「高級すし屋のお任せでもいいのに、こんな小汚い店で同伴しなくたって……」

末吉マスター「小汚い店で悪かったな……はい、ポテサラお待ち！(と、あかりの前にポテトサラダの器を置く)」

あかり「(美味しそうにポテサラを食べ)あたし、マスターのポテサラ大好き！」

#5 「スナック香澄」店内(別の日の夜)

アヤカ、香澄ママ、吉岡、美鈴などがいる。

美鈴「あかりさん、まわり道の常連になったんだ……」

香澄ママ「末吉さんの料理、おいしいものね」

アヤカ「料理だけが理由じゃないと思うんですよね」

吉岡「(興味津々で)何よ、何々？」

アヤカのM「それはバレンタインデーの夜のこと」

#6 「居酒屋まわり道」店内(アヤカの回想)

ホステス姿のあかりと陽平、来店している。

あかり「いつもおいしい料理、ありがとう、マスター(と、チョコの大きな箱を渡す)」

末吉マスター「すまん、あかりちゃん」

隣の陽平、自分があかりからもらったチョコと末吉のチョコを見比べている。

陽平のは圧倒的に小さな箱。

陽平「え〜、オレのはもろ義理チョコじゃん！」

#7 もとの「スナック香澄」店内

吉岡「あかりちゃんはマスターにホレてんのか」

美鈴「マスター、渋くてイイ男だしなあ」

アヤカのM「あかりさんはお店がお休みの日曜日も、まわり道に来るようになりました。けれどその姿は……」

#8 「居酒屋まわり道」店内

作務衣姿のアヤカと末吉、働いている。

暖簾をくぐって店に客が入ってくる。

アヤカ「いらっしやいませ……(客を見て)あ！」

カジュアルな格好をしたサトシ。

サトシ「(アヤカに耳打ちし)日曜日は`女、も定休日なの。(末吉に)マスター、ポテサラとビール！」

末吉「あいよ」

カウンター越しに末吉と談笑する楽しそうなサトシの横顔。

アヤカのM「そんなあかりさんが盲腸で入院しました」

#9 「スナック香澄」店内(別の日の夜)

陽平が来店している。カウンター内にはアヤカと香澄ママ。

陽平「見舞いに行きたいんだけど、あかりちゃんが入院している病院、どこか分からないんだよ」

香澄ママ「それは心配ね」

陽平「アヤカちゃん、何か知らない？」

アヤカ「さあ」

アヤカのM「あたしは早速、LINEであかりさんに連絡を取りました」

10 病院の病室(別の日)

パジャマ姿のサトシを見舞っているアヤカ。

アヤカ「あかりさんのお客さん、みんな心配してますよ」

サトシ「こんな状態で入院してるから、お客さんには悪いけど病院を教えられないの」

11 片町の夜景

12 「居酒屋まわり道」(閉店後)

カウンター席に座り、ビールを飲んで一息ついている末吉。

末吉マスター「今日は、日曜日の彼、、来んかったな。ほら、いつも日曜に来るポテサラのイケメン君」

アヤカのM「あっ、あかりさん！」

アヤカ「盲腸で入院しているらしいですよ。彼とはLINE友達なんです」

末吉マスター「それじゃ見舞いに行っちゃらんとな」

13 病室(別の日)の昼

作務衣姿の末吉、サトシを見舞っている。

末吉マスター「はい、ポテサラおまち。まずい病院メシにうんざりしとるんやろ(とタッパーに入ったポテサラを差し出す)」

サトシ「すみません、わざわざ……」

末吉マスター「いつも店に来てくれるからな。また日曜に来いよ(と腰を上げる)」

サトシ「(恋する乙女の目で)マスター、ありがとう」

末吉マスター「(思い出したように振り返り)そうそう。忘れとった……」

末吉が差し出したのは可愛くラッピングされたスイーツの箱。

末吉マスター「(照れ臭そうに)今日はホワイトデーやろ。ほら、こないだのお返し……」

サトシ「(驚いて)だけど僕はいま……マスターはあたしが女装してたことに気付いていたの！」

末吉マスター「そりゃ気付くさ。外見は違っていても、箸の持ち方や食べる姿勢が同じなんやから。好物も同じポテサラやし」

× ×

「居酒屋まわり道」店内(インサート)。

美味しそうにポテトサラダを食べているあかりにオーバーラップするサトシ。

× ×

サトシ「(スイーツの箱を胸に抱いて感無量。女に戻っている)……」

末吉マスター「(苦笑して)けど勘違いするな。オレにはそっちの気、ないからな」

14 「スナック香澄」店内(別の日)の夜

ホステス姿のあかりと末吉、来店している。

アヤカのM「退院したあかりさんはお店が休みの末吉マスターを誘って同伴出勤。スナック香澄にも顔を出しました」

楽しそうにあかりと談笑する末吉——を見つめるアヤカ。

アヤカのM「末吉マスター、本当はまんざらでもなかったりして」

末吉マスター「(ぼそっと)オレ、人生変わってしまいそ……」